

平成26年度 10月号 10月8日

学校教育目標

自ら学び思いやりのある
たくましい子どもの育成

藤木小だより

子ども像

自ら学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども

ゆうかり：5名 1年：40名 2年：44名 3
年：40名 4年：44名 5年：43名 6年：57名

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成26年4月22日(火)に、6年生を対象として、

「教科(国語・算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均正答率を下回っている。	全体的には全国平均をやや下回っているが、本市平均は上回っている。話すこと・聞くことは平均を上回っているが、読むことの定着が不十分であるため、まず文章を読むことや要点をまとめることに慣れさせる。また、今後は読書量を増やす必要がある。
国語B	全国平均正答率を上回っている。	全体的に全国平均を上回っているものの、記述式の問題での無解答率が高かった。
数学A	全国平均正答率を上回っている。	全体的に全国平均を上回っていた。数量や図形についての知識・技能が高まった。無解答がほとんどなかった。
数学B	全国平均正答率を上回っている。	全体的に全国平均を上回っており、数量や図形についての知識・理解が高まってきた。活用する力を高めることが課題である。

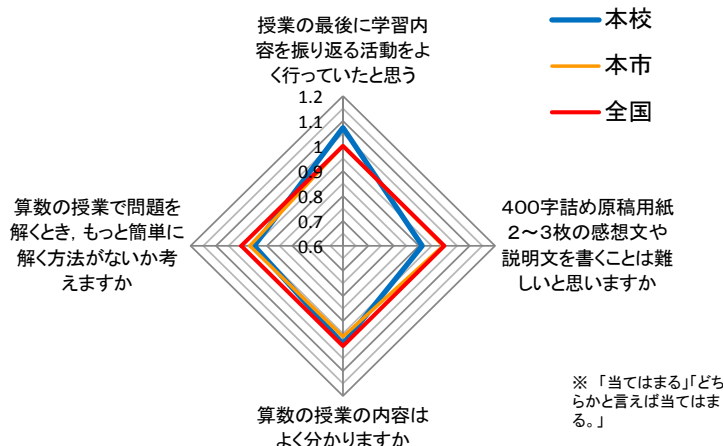
② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

・授業では、はじめにめあてが明確にされており、授業の最後には振り返りの活動がなされていることが分かる。このような授業展開がなされることで、学習の定着が図られていると考えられる。

・算数の授業の内容はよく分かるという児童の割合が高い。授業の中で分からないことがあると、友達や家の人に聞いたり、自分で調べたりする児童が多く、分からないことをそのままにしないで解決していく姿勢が身に付いてきている。

・400字詰め原稿用紙に感想文や説明文を書くことを難しいと感じている児童が多い。授業の中で感想を書く活動を取り入れ、書くことの抵抗をなくしていくようにする。

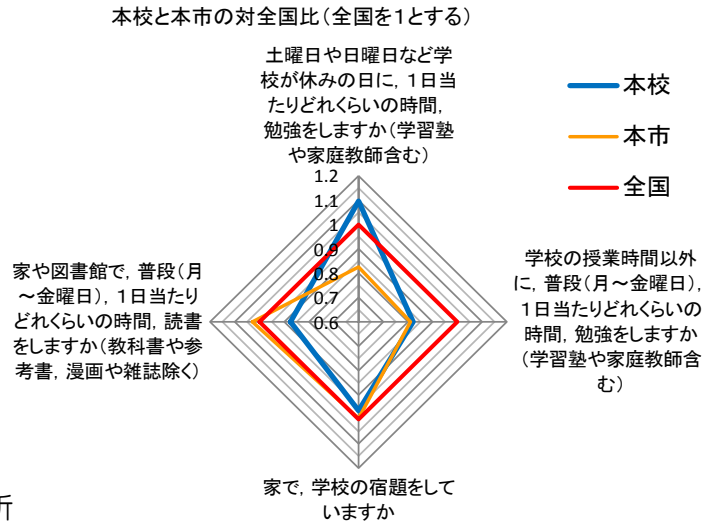
本校と本市の対全国比(全国を1とする)



2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

- ・家で学校の宿題をしている児童の割合が高い。学校の学習時間以外に普段1日に3時間以上学習する児童の割合が高い。土曜日や日曜日など休みの日の1日当たりの勉強時間の長い児童が多い。
- ・家庭学習は与えられた課題や宿題をすることが多く、自分で計画を立てて勉強するまでには至っていない。家庭での学習の仕方について指導をしていく必要がある。
- ・読書をする児童の割合も高く、わずか



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

- ・朝決まった時刻に起きる、夜決まった時刻に寝るという児童の割合が高く、規則正しい生活習慣が身に付いていることが分かる
- ・1日にテレビやDVDを4時間以上見たり聞いたりするという児童がとても多い。テレビの見過ぎについては指導の必要がある。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと感じている児童の割合が高い。人の気持ちが分かる

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ◎朝学習の音読や視写、漢字練習や計算練習などを継続的に行うことで、基礎的基本的な力を身に付けさせるようにする。
- ◎各学年に応じた家庭学習の時間を示したり、学習の仕方を知らせたりすることにより、自ら学ぶ力を身に付けさせるようにする。
- 授業の中で自分の考えを書く活動や友達と意見を交流するような活動を多く取り入れ、書く・話す・聞く活動が抵抗なく行えるようにする。自分の考えを書くノート指導の徹底を図る。
- 読むことの楽しさや読み取る力を付けるため、読書活動の充実を図る。読書の幅が広がるよう、児童が互いに本を推薦しあったり、読後の感想を知らせあったりするような活動を多く取り入れるようにする。
- 学ぶ楽しさや有用感が味わえるような授業改善を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎学校の宿題を家庭できちんとやることを通して、家庭での学習習慣がきちんと身に付くように指導する。
- 自分で計画を立てて自主的に学習ができるよう、宿題だけでなく自主学習の内容や学習の仕方を知らせ、子ども達が自分の興味関心に沿って、さらに発展的に学習に取り組めるようにする。
- ◎テレビやビデオ、DVD、ゲームなどの時間を見直すため、毎月のノーテレビ・ノーゲームの日、ケータイ電源10時OFFを家庭に啓発する。
- ◎学校通信や保健だより、食育だより等を通して、健康的な生活が送れるよう保護者に呼びかける。特に、早寝・早起き・朝ご飯の効用を知らせ、理解と協力を求めている。